

令和3年度 学校だより



令和3年3月16日（水）

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

E-mail: onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp

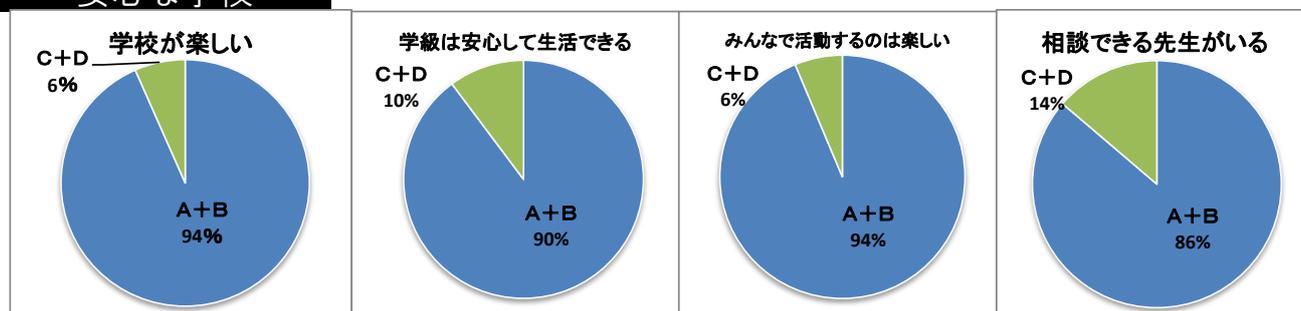
本年度も「花いっぱい 自分 友だち 御一小」の学校教育目標のもと、「自分から みんなで」を重点目標に教育活動を進めてきました。12月に実施した3者アンケートには、保護者の皆様からも多くの声をいただきました。ありがとうございました。全職員で結果を分析し、令和4年度を魅力ある学校にするために話し合いました。学校としての考えもあり、全ての御意見を実現することはできませんが、学校改善の参考とさせていただきます。貴重な御意見をありがとうございました。学校評価の結果を公表させていただきます。御覧ください。

第一小学校教育活動への御理解と御協力をありがとうございました。

児童のアンケート結果をグラフで表示してあります。

グラフの見方: 割合で表してあります。A+B(濃い色の部分)は満足 C+D(薄い色の部分)は満足できないとしています。

### 安心な学校



### 【保護者の方から】

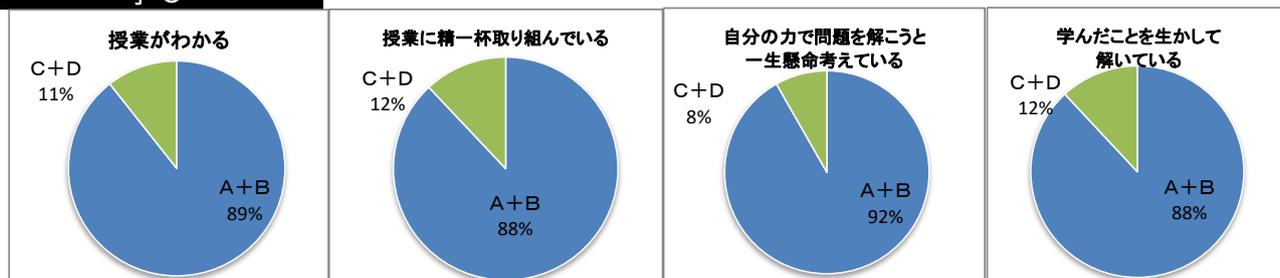
- ☆ 元気に毎日、学校に通えていること、当たり前ではなくてとてもありがたく感じた1年でした。自分の苦手なことは避けていくタイプでしたが、一輪車やなわとび、逆上がり等挑戦させていただき、がんばる姿ややればできるを実感した我が子です。勉強は個でもできるので、集団だからこそできる活動、実体験をたくさん取り入れていただきたいです。コロナ禍で思うような活動ができない中ですが、先生方には感謝しております。いつもありがとうございます。コロナも心配ですが、早く昼休みも戻ると子どもたちも喜びます。
- ☆ 色々な角度から見てくれていてやる気をださせてくれていること本当にありがとうございます。
- ☆ 家では伸ばして出来ないことも、先生や友達が居てくれることでやる気が出たり背中を押してもらうことで大きく成長させてもらっていることを感じます。毎日ありがとうございます。
- ☆ 毎日、学校の話がたくさんしてくれます。保育園の頃と違い、友達といろいろな関わりをしているように感じます。
- ☆ 担任の先生、通級の先生からのサポートや配慮ありがたく思います。家庭でのフォローがなかなか行き届かなく子供にも申し訳なく思います。勉強はなかなか大変ですが、学校生活の話がたくさんしてくれるので安心してしています。

- ☆ 先生方はとてもよくやっただいています。子供を通じてよくみてくれていると感じています。今後とも宜しくお願い申し上げます。
- ☆ Always thanks you for always supporting my daughter.
- ☆ いつも子供達を暖かく見守っていただき、ありがとうございます。
- ☆ お世話になっております。先生の皆様方、昨今、ルールが厳しくなっている中ですが、厳しく、ご指導をして頂いて結構ですので、先生らしくご指導してください。宜しくお願いします。
- ☆ お世話になります。コロナ対策とは思いますが、黙食はあまりにも寂しい気がします。例えば音楽を流すとか少しでも給食の時間を楽しめるといいなと思います。
- ☆ 最近『死ね』と言う言葉を家庭内でよく口にするようになりました。周りの保護者に話をすると『家もそうだ』と聞く事が増えてきました。『死』と言う言葉の重さを伝えて頂けたらと思っています。
- ☆ 児童から見たら先生は大人としてのお手本としてよく見えています。学校では親はいません。困った時の頼りは先生です。是非、相談しやすい雰囲気であればいいと思います。
- ☆ いじめに関して子供達に細かな話をしていただければうれしいです。こんなことも友達に傷つくんだよ。その子その子で傷付き方は違いますが優しい言葉で友達同士が接するような風土を作りたいと思います。よろしくお願い致します。

#### 【学校から】

- ★ 児童にとって「安心・安全」な学校生活にするため、本年度も教育活動を制限せざるを得ない一年間でした。その中でも「学校が楽しい」と回答した児童が94%と昨年度より高い数値を示しました。保護者の方の評価も96%と、御家庭でも子どもが学校生活を楽しんでいると評価していただきました。参観会や運動会など、保護者のみなさまには御理解いただかなくてはならない場面が多くありました。学校の方針を理解し、御協力くださいましたことに感謝申し上げます。
- ★ 「みんなと活動するのは楽しい」という項目においても94%という高い評価を得ることができました。本年度の「御活動」が、昨年度の踏襲ではなく本年度の子供たちの方法で企画、運営されたことが、友達と一緒に活動する成就感につながったと考えられます。50周年事業も同様です。「子ども主体」の活動が充実したのは、子供たちの頑張りはもちろん、地域の御協力のおかげです。学校という枠を超えた大きな活動を、子供たちが経験することができました。ありがとうございました。  
しかしながら、その一方で、友達とのつながりに不安を感じている子や準備物等の連絡が不十分となってしまう御心配をおかけしてしまった保護者の方がいらっしゃいました。その時できる最善の教育活動を模索し、今後も子どもたちの声や保護者の方の声に耳を傾け、より一層の信頼関係が築けるよう努力していきたいと考えます。
- ★ 「命の大切さ」について、心を形成する時期の子供たちにとって重要なことです。学校では学級活動や保健・道徳の授業等を通して、自他の命の尊さについて繰り返し指導しています。先日の東日本大震災追悼時刻には、校内に残っている高学年を中心に黙とうを行いました。ぜひ御家庭でも自他の命の尊さについて、お話ください。「いじめ」についても自他を大切にしない、許されない行為として指導を継続します。

## 学び



### 【保護者の方から】

- ☆ コロナ禍で例年通りにいろいろなことが行えない中、先生方をはじめたくさんの方の努力や配慮のおかげで出来る形で運動会や修学旅行等実施してくださり、ありがとうございました。指導要領が改正され授業のやり方や内容も変わってきているとは思いますが、これからは生き抜く子供たちに必要な力、生の経験を集団だからこそ出来る形で、削る、縮小するばかりにならないよう今後も取り入れていってほしいです。
- ☆ クロームブック等、カバンに入れる荷物が重くなる為、なるべく置いてきていい教科書を増やしてもらいたいです。

### 【学校から】

- ★ 「授業が分かる」の項目は89%と評価数値が市の目標値を上回りました。これは「自分の力で一生懸命問題を考えている」評価が92%であることも関連しています。主体的に課題に取り組む意欲が「わかった」につながったと分析します。

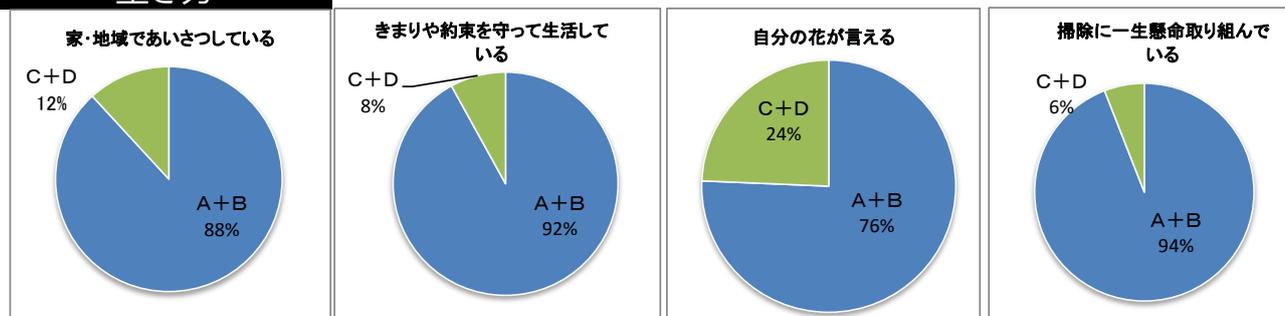
私たち教員は校内の授業研究テーマを「見方・考え方を働かせ、資質・能力を身に付ける授業」として、算数科を中心に研修を行ってきました。目の前の1時間だけでなく単元を通して「子供にどのような力をつけるか」を常に考えた授業づくりを心がけてきました。算数科だけでなく、他教科の授業にも取り入れています。

今後は

- ①全ての教科において、単元で子どもたちに身に付けたい資質・能力は何かを明確にして授業を構想すること。（教科研究）
  - ②その教科特有の「見方・考え方」を活用した授業づくりをすること。
  - ③人が好きな第一小の子供たちだからこそ展開したい『人とつながり、授業を自分たちで創る』意識の向上と授業形態を研究すること。（めざす授業像への取り組み）
  - ④これからは生きる子供たちにとって不可欠なICT機器を、学びの機器として活用できるよう、効果的に授業に取り入れること。
- 以上4点について、さらに研究を深めます。

- ★ 「自分からノート」への「ほメッセージ」に御協力いただきありがとうございます。保護者のみなさまからの「ほメッセージ」が、子どものやる気につながっています。お忙しいことと思いますが、「自分からノート」や「ほメッセージ」の趣旨を御理解いただき、引き続きよろしく申し上げます。御意見にもいただきました「自分からノート」の取り組み方については、今後も学校で指導を続けます。

## 生き方



### 【学校から】

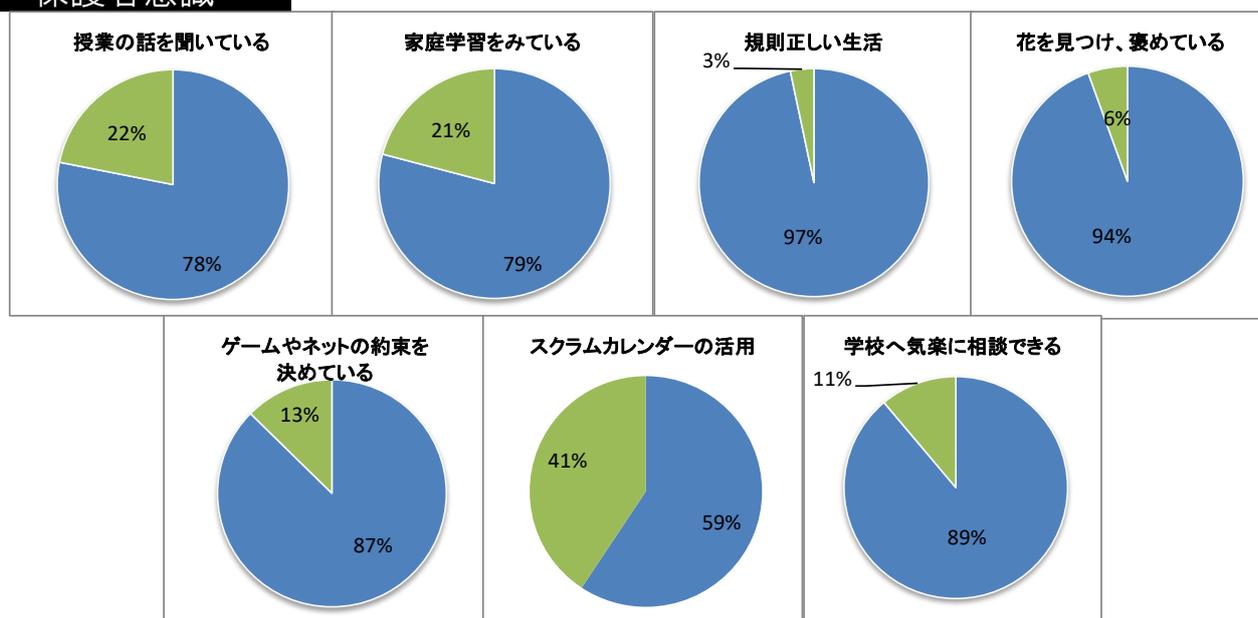
- ★ 本年度も『スクラムグッドマナー運動』への御協力ありがとうございました。PTA役員さんを中心に活動が広がっています。子供たちのあいさつは本年度も課題となっています。保護者の皆さんや地域の皆さんからの声かけによって、子供たちの意欲も高まります。社会情勢的に難しい面もありますが、御家庭でも、ぜひ根気強く御協力・御指導をお願いします。

令和4年度は浜岡中学校区共通実践項目として「あいさつ+1」の取組を実施します。場に応じたあいさつの価値を、学校でも指導していきます。

- ★ 「自分の花が言える」という項目については、76%の子供が「言える」と回答しました。反対に24%の子供が、自分の花が「言えない」と答えています。達成した姿だけではなく「意欲を持つ姿」や「努力し続ける姿」も『花』だと子供たちは理解しつつあります。

保護者の方の子供の『花』に対する意識も、回答数値の向上が見られました。学校では引き続き、本人の可能性も含めて『花』であることを伝え、認め励まし、価値付けていきたいと思えます。現在、第一小が大切にしている『勇気づけのボイスシャワー』を、より自立に向かう『ボイスシャワー』に高めることで自己肯定感の高揚を目指したいと考えます。

## 保護者意識



### 【保護者の方から】

☆ 先日、中学校で行われた「スマホ依存の怖さ」という講演を第一小学校の生徒も聴く機会があればと思います。スマホ・タブレットなどに囲まれた環境はこの先ずっと続くので、上手な付き合い方を考えて注意して生活できるよう心がけるきっかけになるとと思います。

☆ chrome bookを使い始めてから、ネット関係で少し困ったことがありましたが、担任の先生に相談していたみたいで大ごとにはならず済みました。我が子が担任の先生を信頼しているんだなと感じました。

### 【学校から】

★ 「スクラム」で取り組んできた「早寝・早起き・朝ごはん」については、かなり意識が向上してきました。最近問題になっているのは、やはりゲームやインターネットの問題です。問題の低年齢化、向き合っている時間が、全国平均よりかなり長いのが現状です。また、これに伴う問題やトラブルも発生しています。

本年度、5年生を対象に「スマホ・ネット依存に関する講演会」を企画していましたが、状況により中止となってしまいました。令和4年度は実施予定です。4年生を対象に情報モラル講座を開催予定です。この講演会を通してゲームやインターネットとの関わりを考える機会とします。正しい知識を得ると同時に、御家庭でのルール作りは子どもの健康を守るために欠かせません。親子で話し合ってルールを作り、それをきちんと守ることが重要です。毎日厳守することは、難しい面もあるかと思いますが、引き続き御協力をお願いします。

## その他

☆:保護者の方から ★:学校から

- ☆ 下校時の交通ルールの再確認をお願いしたいと思います。道いっぱい広がって歩いていたり、後方を確認しないまま、道を渡ったりする様子を見て、危険を感じたことがあります。
- ☆ 朝の登校で、登校班を離れて数人で登校しているのが気になる。リーダーの子が注意しても離れてしまう。これでは登校班の意味がまったくない。来年はリーダーになるのに不安です。心配です。真面目に活動している子がかawaiiそうです。
- ☆ 登校班についてです。集合に遅れる、雨の日は連絡もなく車で登校する子たちがいます。そのことによって、次の班長になれる子がいなくて、高学年の子がいなくて登校が心配、という話も聞きます。そういう子に限って班長をやりたいと言って、他の子が困ったりしています。子どもたちだけでなく保護者にも「自分のことで他の子に迷惑がかかる」というお話をしていただきたいです。悩んでいる話をよく聞くので、よろしくおねがいします。
- ☆ 登校の仕方が悪いです。高学年の児童が先に行ってしまう低学年の小さい子たちが置いてきぼりになっています。違う子供会の児童同士がかたまっで登校している。高学年の児童は「学校のリーダー、子供会のリーダー」という事を認識してほしいです。しっかり並んで登校している子供会もあります。しかし、少ないです。
- ☆ 車を運転していて自転車に乗った第一小学生の行動で危ない場面を何度か見えています。定期的に自転車のルールなど学校でも確認していただけたら、安心です。
- ★ いつも旗当番に御協力いただき、ありがとうございます。  
子どもたちの集団登校に関する御意見は、毎年のように出されています。  
学校では3月2日に通学区会を行いました。今まで頑張ってくれたリーダーに感謝するとともに、次のリーダーへの引継ぎと並び方や約束の確認を行いました。令和4年度も年間3回の通学区会通して、毎学期ごと集団登校の振り返りをしたり、指導をしたりしていきます。指導が必要な場合は、登校班ごとに適時指導します。ぜひ地区におかれましても、集団登校への声掛けに御協力をお願いいたします。
- ☆ 去年も出ていた意見ですが、御一Tシャツが家庭で貯まり使い道に困っている家庭もあるかと思っています。何かリサイクルできる取り組みがあるといいですね。不要なTシャツを学校で回収し、リフォームなどチャレすかや家庭科でできたら使い道もあると思いました。
- ☆ 御Tがきれいなまま家にたくさんあります。  
何か活用できればなと思います(寄付 等)
- ★ 御一マンTシャツについては、様々な御意見をいただきました。着用の回数、着用の目的を含め、子どもたちとも協議し、検討させていただきます。御意見ありがとうございます。
- ☆ 宿泊訓練、とても心配していましたが、随時メールで状況を教えていただけていたので、安心して帰りを待つことができました。ありがとうございました♪
- ☆ 給食がない日のお知らせのメール、すっかり忘れてましたのでありがたかったです。学習ノートを時々見たいです。
- ☆ ○日までは短縮日課となっていて継続の場合、前日や当日ではなく早めに連絡をもらいたいです。まだ1人で留守番はさせていないので下校時間は早めに知りたいです。(仕事の時間を調整してもらうため)連絡がないと通常に戻るのかどうか分かりません。
- ☆ 欠席連絡を浜中と同じ様に、web連絡にしていきたいと思います。
- ☆ 運動会や走ろう会がない分、参観以外に学校の様子を見れる機会が欲しいです。
- ☆ コロナ自粛から始まった2学期でしたが運動会も出来て良かったなと思っております。先生方のご配慮に感謝します。ありがとうございます。

- ☆ 6年保護者として運動会の参観をさせて頂きました。同時にTVの中継もありました。徒競走を現地で見ている分には我が子の姿を確認してあと何レースかわかりますが、TVで見ているほとんどの保護者の方は、今何レース目かわからないと思います。事前に、我が子がプリントで何レース目か書いて帰宅しますが、中継見てるだけではわからないと思います。ですので、個別の名前呼び出しは無理ですが、レース毎に何レース目かだけでもアナウンスして頂けるととっても嬉しいし助かります。手間はかかると思いますがご検討頂けたら来年から嬉しいです。
- ☆ リサイクル活動について。小学校と中学校のリサイクル活動の時期が1ヶ月程しか変わらないので、収益を見込むのであれば、小中の活動の時期を1年間でバランスよく計画してみてもと思います。他の活動との兼ね合いで小中共に現状の時期なのかもしれませんが、子供達の為の活動の資金が少しでも増えたらいいなと思います
- ★ 貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。令和4年度の教育活動を企画する参考とさせて頂きました。全て実現は難しい面もありますが、検討を重ねていきます。引き続き、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

## スクラムスクール運営協議委員の方々から

- 一人一台端末が導入され、学校生活に大きな変化が見られる。子供たちの対応力は早い。子供たちの使用力が向上していく中で今後どのような対応としていくか、学校として考えたい。保護者とも今まで以上につながり、共有していく必要がある
- 学校評価の「学級が安心できる」と回答した子供が多いことはよいが、反対に「安心できない」と回答した子供が気になる。理由をぜひ聞き取ってほしい。どのように対応するか、検討したい。
- 学校に来ることに困難を感じている子供たちに対し、学校の中で居場所を大切に確保したい。この子がどの方向に進めば、よりよい人生を送ることができるか、長い目で考えることも必要だと思う。
- ICT機器が導入され、子供たちが手にする情報量が増加している。情報をただ見ているだけでなく、大切なのは子供たちが自分でどう考えるか、子供たちに考えさせることである。保護者にも今が子供の教育の大切な時だということを伝えてほしい  
また、ICTを使いこなすことも必要だが、人と人が自分の考えをきちんと伝えることが大切である。コミュニケーション意識を大切に育てる指導を。
- 地域の方がもっと学校に気楽に入れるような仕組みができるとよい。学校が何を困っているか、どんな力を貸してほしいか、発信する仕組みは作れないだろうか。
- コロナウイルスの感染拡大により、家庭も学校も大変な状況である。その中で学校がもちこたえて教育を進めていることに、感謝する。教員が倒れないか。管理職は個々抱えているものが異なる教員の様子に気を付けてほしい。